

2015年度新入生アンケート調査結果報告書

法政大学への満足度は70.3% (前年比0.2ポイント増加)

入学学部への満足度は66.7% (前年比1.3ポイント増加)

法政大学および入学学部に対する感想はすべての項目で肯定的回答が前年度を上回るも「就職につよい」と感じる学生は依然として低い割合

大学在学中の目標はほぼ例年と変わらず

「法政大学を勧めたい」と回答した学生は56.8% (前年比2.0ポイント増加)

実施時期：2015年6～7月 対象：2015年度新入生（学部） 有効回答数：4942件（回収率：76.7%）

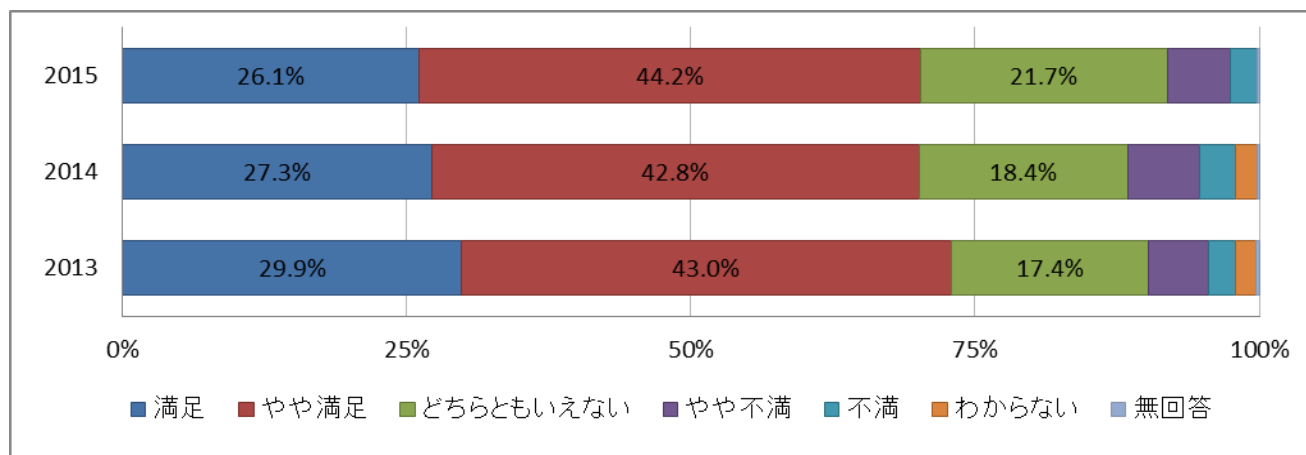
1 調査結果

1.1 法政大学および入学学部に対する満足度

図1.1.1および図1.1.2は、「現時点で、法政大学および入学学部に対してどの程度満足していますか」との質問に対する回答結果です。

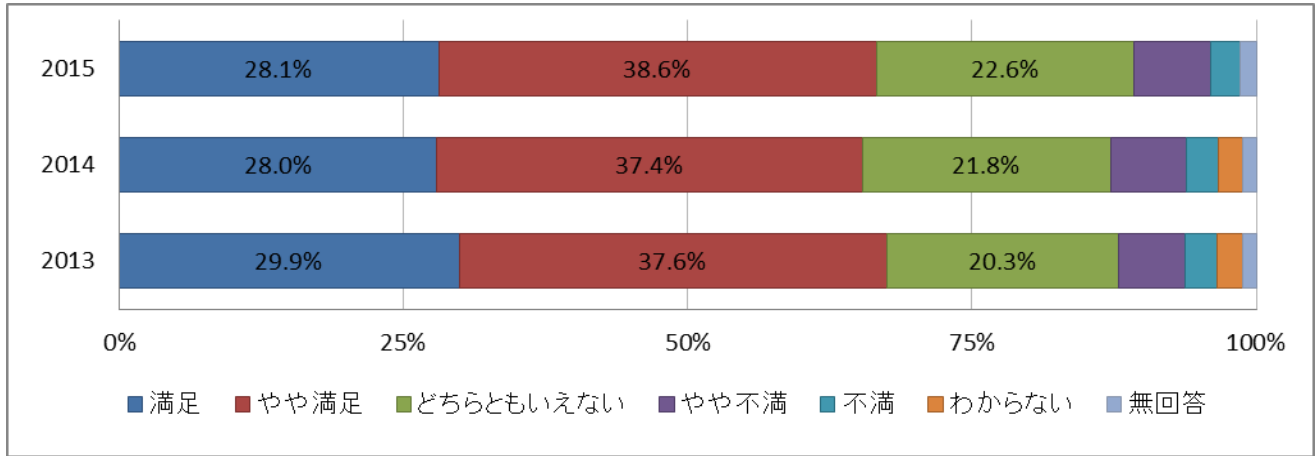
大学に対する満足度（70.3%）（「満足」と「やや満足」の合計、以下同様）は、2014年度（70.1%）と比べ0.2ポイント増となりました。

図1.1.1 法政大学に対する満足度（全学）



学部に対する満足度（66.7%）は、2014年度（65.4%）に比べ1.3ポイント増となりました。

図 1.1.2 入学学部に対する満足度（全学）

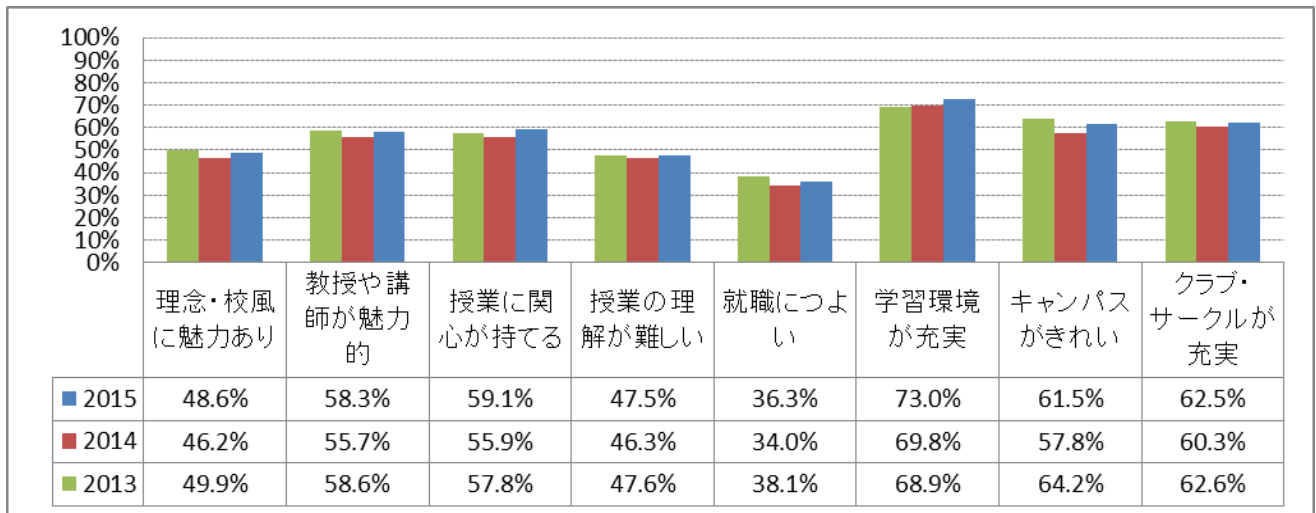


1.2 法政大学および入学学部について

図 1.2.1 は「現時点で、法政大学（および入学学部）についてどのように感じていますか」に対する肯定的回答（「そう思う」と「いづらかそう思う」の合計）の集計結果です。①「理念や校風に魅力がある」、②「教授や講師に魅力的な人がいる」、③「授業に関心もてる」、④「授業の理解が難しい」、⑤「就職に強い」、⑥「図書館などの学習環境が充実している」、⑦「キャンパスがきれいである」、⑧「クラブやサークル活動が充実している」の8項目について質問しました。

すべての項目で肯定的回答が前年度を上回りました。また、「就職につよい」と感じる学生はこれまで同様に4割を切っており低い割合を示しています。

図 1.2.1 法政大学および入学学部についての感想（全学）

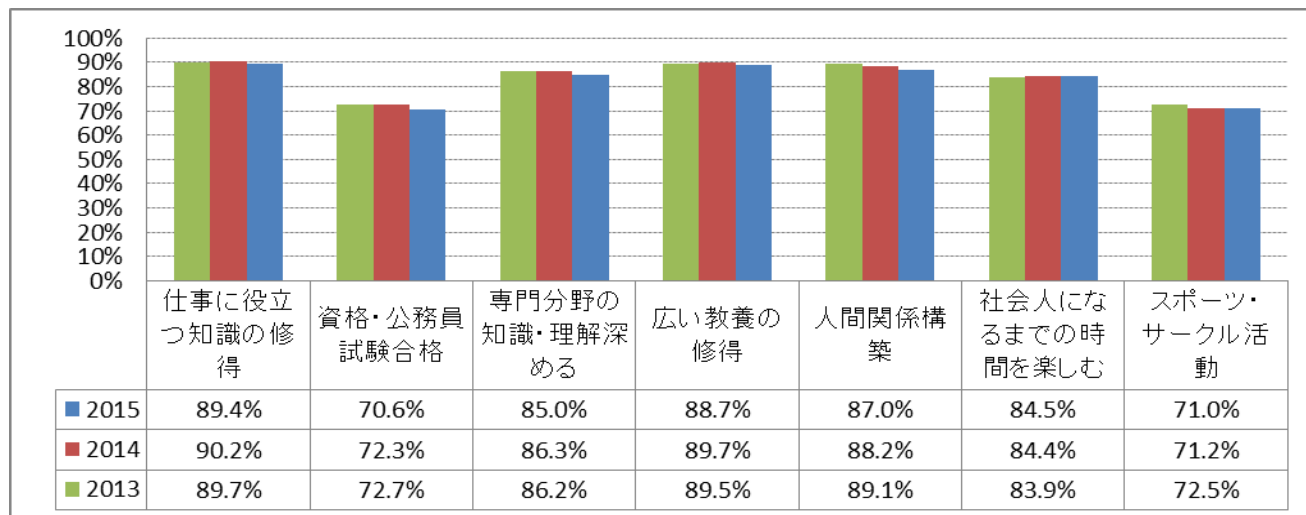


1.3 大学在学中の目標

図 1.3.1 は「大学在学中の目標として、どのようなことが重要ですか」との質問に対する回答（「重要である」+「いづらか重要である」）を集計した結果です。①将来の仕事に役立つ知識を身につける、②資格試験・公務員試験などに合格する、③専門分野の知識・理解を深める、④広い教養・ものの見方を身につける、⑤有意義な人間関係を築く、⑥社会人になるまでの時間を楽しむ、⑦スポーツ・サークル活動に力を入れる、の7項目について質問しました。

全体的な回答の傾向は 2013 年度、2014 年度と同様でした。項目別では、「将来の仕事に役立つ知識を身につける」(89.4%) が最も多く、「広い教養・ものの見方を身につける」(88.7%)、「有意義な人間関係を築く」(87.0%) と続いています。

図 1.3.1 大学在学中の目標 (全学)

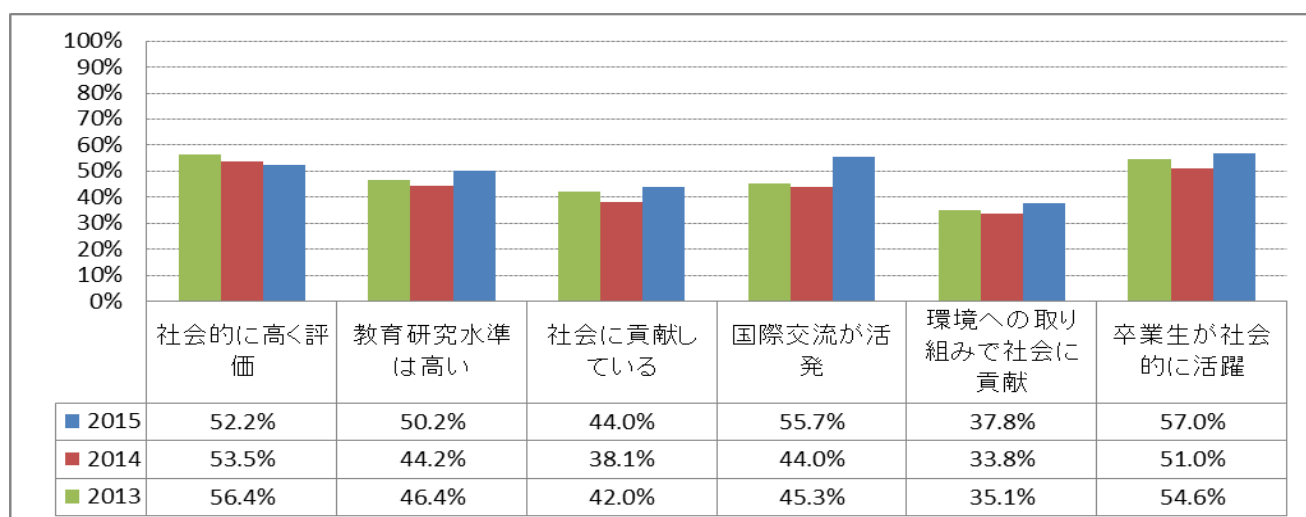


1.4 法政大学の評価 (イメージ)

図 1.4.1 は、「法政大学は社会からどのように評価されていますか」の質問に対する肯定的回答(「そう思う」+「いくらかそう思う」の割合)を集計した結果です。①社会的にも高く評価されている、②教育研究水準は相対的に高い、③教育研究を通して社会に貢献している、④国際交流は活発である、⑤環境への取り組みを通して社会に貢献している、⑥卒業生は社会的に活躍している、の 6 項目について質問しました。

肯定的回答は、「卒業生は社会的に活躍している」(57.0%) が最も高く、「国際交流は活発である」(55.7%) が続いています。また、「社会的にも高く評価されている」を除く 5 項目で前年度を上回りました。

図 1.4.1 法政大学のイメージ (全学)

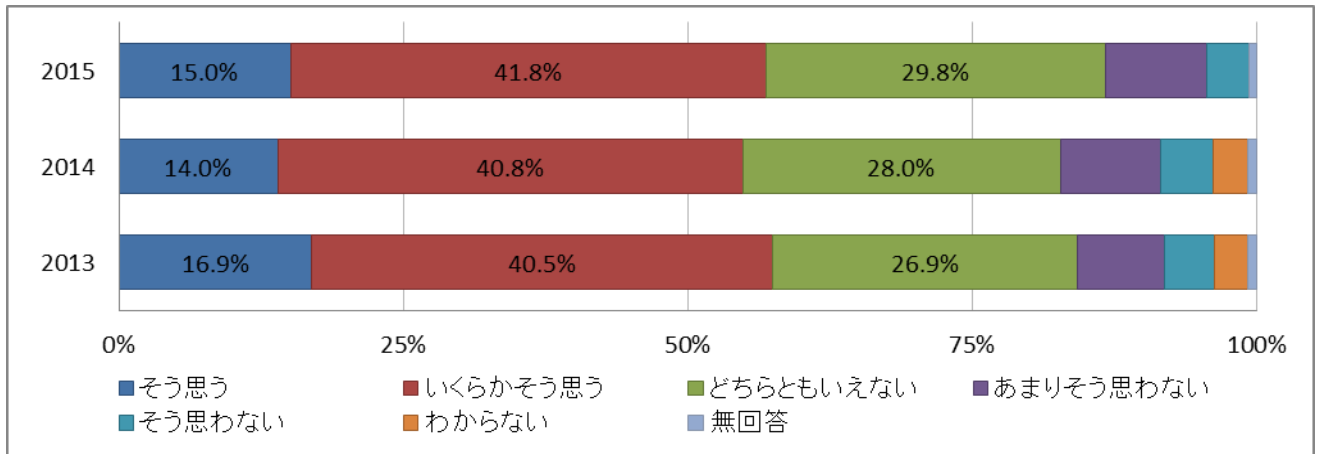


1.5 法政大学を勧めたいと思うか

図 1.5.1 は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」の質問に対する回答である。

肯定的回答は 56.8% であり、2014 年度 (54.8%) に比べ 2.0 ポイント増加しました。

図 1.5.1 法政大学を勧めたいか（全学）



以上